



社会福祉法人 兼愛会

特別養護老人ホーム しょうじゅの里三保



施設の歴史・特徴

地域に福祉の種をまき、根付く事により大樹となり地域に密着した施設を目指したいという思いより「しょうじゅ（生樹）」と名付けました。平成17年4月1日開設、平成19年12月1日増設を経て、ふと立ち止まった時…。ホテルのような外観・設えの中で提供されるサービスが、たとえホスピタリティー精神ののっていたとしても、一律であってはならないということに気づきました。平成25年度ユニットリーダー研修実地受入施設認定。理念：「親切と誠実」を念頭に入居者の今までの生活をいかに尊重し継続できるようにサポートし入居者の居場所となる環境を整備し人生の最終ステージをその人らしく生活していただくための支援をさせていただいています。

研修の取り組み

新任研修をふまえ、適時必要な研修内容を充実した環境で受講できるよう整備しております。

人材育成

職員のスキルに合わせたOJTや研修等を取り入れ、学びやすく働きやすい環境を意識し、様々な資格を取得できるよう整備しており、即戦力になれるような人材育成を構築しております。

〒226-0015 神奈川県横浜市緑区三保町171-1

TEL：045-921-0013 FAX：045-921-0056

ホームページ：<http://www.akaedakai.com/miho/index.html>

施設で特に力を入れている取り組み

- ・地域包括ケアの視点から、デイサービスやショートステイの利用者様との交流や地域ボランティアを社会資源として活用しながら、入居後も地域との繋がりを断ち切ることなく継続していただけるように、約30種類のアクティビティ・地域行事参加に力を入れて取り組んでおります。
- ・入居者の自己選択の機会として、ネットスーパー、買い物支援、喫茶室、売店等の活用ができるように、入居者の意欲向上と活動範囲が広がるような働きかけを行っています。
- ・今まで以上に根拠をもった支援を提供する為、気づきシートを活用し個別援助計画書を作成しケアプランに反映していく取組をしております。
- ・健康経営を強化しており、職員の健康増進に努め、働きやすい環境の構築に積極的に取り組んでおります。
- ・グループ内クリニック等と連携し、透析患者様でも特養で安心して暮らせるようサポートしております。

施設長から実習生へメッセージ

「親切と誠実」「信頼と気付き」をモットーに、根拠をもった支援を提供する為、個別援助計画書を作成し入居者の望む暮らしの支援に取り組んでおります。個別ケアのツールとしてユニットケアをどう実践していけばいいか、皆様と一緒に学んでいきたいと願っております。実習生の皆様、お待ちしております。

実地研修タイムスケジュール

| 1日目 | 2日目 | 3日目 | 4日目(プレゼン) |
|-------------|------------|------------|------------|
| 11:00～20:00 | 8:00～17:00 | 7:00～16:00 | 8:30～12:30 |

お食事代：朝食(―) 昼食(420円、ユニット配膳) 夕食(―)

施設情報

| | | | |
|-----------------------|-------------------------------|-----------------------|-----------|
| 施設長 | 赤枝 眞紀子 | 受入担当者 | 鳥澤 清人 |
| 人員配置 (2020年4月時点) | 2.02:1 | 非正職員比率 (2020年4月時点) | 正4:非6 |
| 平均要介護度 (2020年4月時点) | 3.3 | ユニットケア導入時期 | 平成17年4月1日 |
| ユニット数 | 18(内ショート1) | ショートユニット形態 | 独立 |
| アクセス | JR 横浜線 中山駅 又は 十日市場駅より無料シャトルバス | | |